

平安の雅を今に伝える
歴史と浪漫の島で、
悠久の自然を体感する
「宮島」



写真提供：広島県

海中にそびえ立つ朱塗りの大鳥居、潮が満ちると海に浮かんでいるように見える社殿。弥山の原始林や瀬戸内海と鮮やかなコントラストをなし、宮島のシンボリックな景色となっています。

日本独自の文化を伝える優れた建築であることと、島全体が文化的景観を成している点が高く評価され、厳島神社は平成8年に世界遺産に登録されました。登録された区域は、社殿を中心とする厳島神社と、前面の海および背後の弥山原始林（天然記念物）の森林を含む区域の431.2ヘクタール。厳島全島の約14パーセントを占める広い範囲にわたっています。

厳島は、古代から島全体が信仰の対象となっていたため、豊かで貴重な自然が残されています。そこで、観光客が行きかう町並みから少し足を伸ばして、こうした自然の恵みに触れる旅をしてみたいかどうか。

宮島の主峰・弥山は標高535m。弥山原始林は、原始的な植物を自然の状態で見ることができる貴重な場所です。弥山頂上までは、「紅葉谷コース」「大聖院コース」「大元コース」の3つの登山コースが整備されており、所要時間は片道1時間半から2時間。もっと気軽にという方には、瀬戸内海の絶景や原始林の眺め

を楽しみながら空中散歩できるロープウエーを使ったコースがあります。弥山では、自然の森の美しさ、巨岩奇石が点在する変化に富んだ景観、そして眼下に広がる瀬戸内海の多島美を体感できるほか、弘法大師が弥山山頂で百日間に及ぶ求聞持の秘法を修して以来、今日まで途絶えることなく燃え続ける「消えずの火」や、側面にあいた直径10cm程の穴に溜まった水が潮の満ち引きに合わせて上下するといわれる「干満岩」などの「弥山七不思議」にも出会えます。

1400年の歴史と文化とともに護られてきた神の島の大きい自然の営みを体感すれば、スピリチュアルな時間が過ごせそうです。（協力／広島県東京事務所）



【アクセス】
JR：広島駅から宮島口駅まで約25分（山陽本線）、宮島口からフェリーで約10分。
広島電鉄：広島駅から広電宮島口駅まで約60分（路面電車）、宮島口からフェリーで約10分